

(表3) 金融再生法開示債権の推移

(単位:億円)

		10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
都銀・長信銀・信託	金融再生法開示債権	219,450 (219,450)	203,580 (184,930)	200,080 (180,320)	283,850 (267,820)	206,800 (202,440)	138,020 (136,160)
	破産更生等債権	53,660 (53,660)	40,800 (37,910)	36,970 (31,800)	35,290 (32,010)	22,100 (21,610)	14,940 (14,650)
	危険債権	123,180 (123,180)	108,400 (100,660)	91,700 (84,850)	129,790 (122,330)	67,740 (65,820)	53,270 (51,990)
	要管理債権	42,610 (42,610)	54,380 (46,370)	71,410 (63,670)	118,770 (113,480)	116,960 (115,010)	69,810 (69,520)
地域銀行	金融再生法開示債権	119,980	114,470	136,220	148,220	146,600	127,920
	破産更生等債権	49,550	37,060	39,640	38,750	35,370	28,580
	危険債権	50,970	54,080	58,640	63,360	62,390	58,610
	要管理債権	19,460	23,330	37,940	46,110	48,840	40,730
全国銀行	金融再生法開示債権	339,430	318,050	336,300	432,070	353,390	265,940
	破産更生等債権	103,210	77,860	76,610	74,040	57,470	43,520
	危険債権	174,150	162,480	150,340	193,150	130,130	111,880
	要管理債権	62,070	77,710	109,350	164,880	165,790	110,550
預金取扱金融機関	金融再生法開示債権	425,510	409,350	429,850	524,420	445,070	346,020
	破産更生等債権	142,050	112,470	110,610	103,960	87,020	70,090
	危険債権	203,910	197,040	186,270	229,120	166,200	145,480
	要管理債権	79,550	99,840	132,970	191,340	191,840	130,440

1. 計数は、億円を四捨五入し、10億円単位にまとめた。

2. 10年度は新生銀行、あおぞら銀行を除き、11年度はあおぞら銀行を除く。12年度以降は新生銀行、あおぞら銀行共に含む。

14年度以降はUFJ銀行の再生専門子会社の計数を含み、15年度はみずほグループ各行、西日本銀行、福岡シティ銀行の再生専門子会社の計数も含む。

3. ()内は主要11行の計数であり、主要11行は都銀・長信銀・信託から新生銀行とあおぞら銀行を除いたもの。

4. 地域銀行には、埼玉りそな銀行を含む。

5. 預金取扱金融機関には、信農連等を含まない。